仕事図鑑

このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

ディレクター

瓦谷 捺騎 さん
下関市出身

楽しいことは？

イベントの中継だったり、新しくオープンしたお店の取材だったり、時には医療現場にお邪魔したりと、毎日違うことに触れられることです。
いろんな人と出会えて、いろんな人とつながれることも楽しみの一つです。

どんな仕事ですか？

テレビ番組を作るのには、アナウンサーやカメラマン、照明・音声担当など、たくさんの人が関わっています。ディレクターは、企画・演出から撮影現場での監督、そして撮影した映像の編集まで、オールマイティーに仕事をこなします。

目指したきっかけは？

映像の作り方に興味があって、出演者として、実際の撮影現場に行ってみました。すると「自分ならこんなふうに演出したい」という思いがあふれてきて、企画を考えることが好きなんだなと気付きました。

現場の雰囲気をつくる

面白い企画を考え、取材先にアポイントを取り、台本を作成して出演者と打ち合わせ。現場では撮影スタッフに指示を出し、時には自らインタビュー。そして、オフィスに戻って待っているのは撮影した映像の編集。ディレクターの仕事は大忙しです。

市政だより「しものせき21」の撮影真っ最中の瓦谷さんに、お話を聞いてみました。

「良い番組を作るには、撮影現場の雰囲気づくりも大切です。視聴者に楽しんでもらうためには、まず出演者やスタッフが現場を楽しむこと。出演者のことを事前によく調べて、その人に合った演出を考えることが、ディレクターの腕の見せどころです」

皆さんと関われる企画を

「地域の情報を届けるだけではなくて、下関の皆さんにたくさん出演してもらって、一緒に関われる双方向の企画もつくっていきたいです」

ディレクターの仕事を知ると、テレビの見え方が変わるかもしれませんね。

映像をつなげて番組が完成

撮影スタッフに指示を出します

企画を考えて打ち合わせ

▶取材協力　山口放送株式会社（☎0834-32-3860）